

国実通信

191号

企画 国実女子部

株式会社



佐久市中込3611-170
TEL.0267-64-1822

国実 検索

国宝

第二章 里へ向かう影

リフォームの打ち合わせ当日、京子は遅れて現れた。SUVのドアを勢いよく開け、赤く染めた髪をかき上げながら颯爽と降り立つ。その笑顔は六十七歳とは思えぬほど明るく、そばかすが陽の光を受けて愛嬌のように散っていた。

「ごめんなさいね。くまが出たらしくて、人がたくさん道にいて車が通れなかったのよ。銃声も聞こえたから。」
まるで他人事のように軽やかに言う声は快活で、山間の暮らしたの重さを感じさせない。しかしその明るさの奥には、誰にも見せぬ細い硝子のような痛みがひそんでいた。外見の強さとは裏腹に、京子は人一倍まわりの気配に敏く、心の揺れを隠すのが上手いだけだった。今回のリフォーム現場は彼女の実家である。

を終えそれなりに片付いてはいたが、茶の間、座敷は荷物であふれ足の踏み場もない状況であった。4人がようやく座れる場所を作り、小さなテーブルを据え、打ち合わせが始まった。

リフォームには必ず理由がある。ご主人の口からは苦渋の決断、その過程が堰を切って流れ出た。
今、二人は地区の役を四つも担っている。あと数年もすれば六役を背負うことになるだろう。六十代後半の夫婦が、若手の筆頭として、雪かき、草刈り、行事の段取り、高齢者への気配りまで、できる限りの責任を果たしてきた。

んでいた。

京子は以前から、機会があれば近所の人を誘い、お茶会を開いてきた。根っからの料理好きが高じてのことであり、明るい性格も相まって、彼女の家は皆の「寄り処」となっていた。

ゆえに地域を離れることを彼女は未だ誰にも言い出せないまま、移住の話だけが先へ進んでいった。

心の移住ではなく、便利を求めての移住——その事実が胸を刺した。沈みゆく船から自分だけ助かるような居心地の悪さが拭えない。皆を見捨てるようで、裏切るようで、背徳の鎖はざらついた痛みを伴い、京子の心を締め上げていた。
それでも現実には、静かに背中を押してくる。残ること、去ることもどちらも心を削る選択だった。

第三章【沈黙の地図】に続く

2月19日発行



今後床の補強、防湿シート工事が始まる

新春お茶会開催報告 1月10日開催

当社が一年の歳月を掛けるリノベーションした築180年の古民家を会場に1月10日新春お茶会をはじめを開催しました。

参加者からは

【古民家の趣が新年の始まりにふさわしく、心が整った】
【初めての参加だったが丁寧なお手前に触れ豊かな時間が過ごせました】
などの声が寄せられ場の暖かさや伝統の力を改めて感じる会となりました。



古民家には紫紺の日除け暖簾が似合う



※参加いただいた皆様の
お写真は、インスタで
発信しております。

(水やりレモコ)の会

2名様にご入会いただきました。断熱施工の恩恵、暖かいお部屋でレモンの木、コーヒーの木がスクスクと育っています。お楽しみあれ。



黄子



茶子

大人のための社会科 開催のお知らせ

当社では、地域のつながりだけを、成熟した学びの時間を大切にする取り組みの一環として、「大人のための社会科」を開催しております。暮らし・文化・歴史・地域課題などを多角的に学び合う場として、参加者同士が語り合い、新たな視点や気づきを持ち帰っていた

日時 2月19日 AM10時

現地集合

見学場所 佐久クリーンセンター

募集人員 10名

参加費用 10000円

昼食付 小諸市

【揚羽屋のおにぎり】
ドリンク・お手拭き



施設見学みんなで行けば怖くない

見学は約1時間
その後国実事務所にて意見交換・解散となります。
お申し込みは 0267-64-1822 佐々木まで
定員になり次第締め切らせていただきます。
(次回大人のための社会科 インフラを考える佐久下水処理場見学)

今月のプレゼント

今回は簡単入門ウクレレキットです。

なぜ今回ウクレレになったかといえますと、12月のとある日。片付けセミナーの講師の籠田様と、喫茶オールでの打ちあわせの際、壁にかけてあったウクレレが彼女の目に止まりました

(私実はウクレレ持ってるんですよ)と一言。

それを聞いた社長が(ウクレレやってみないか)と一言。

それを聞いたオールの店長が(お客様にウクレレ奏者がいるんですよ)と一言。



教材 チューニング機材セット

てなわけで ウクレレとなりました。
エイ！こうなったら、みんなウクレレ習いましょう。
3名の方にウクレレ入門セットをプレゼントいたします。
お申し込みはハガキに住所氏名・電話番号を記入の上佐久市中込3611-170 国実プレゼント係まで